

・使い方

① トップページ

トップページ

本サイトでは開発プロジェクトの欠陥数を信頼度成長モデル用いて予測し、テスト工程の終了・プロジェクトのリリース決定の役に立ちます。また複数プロジェクトで欠陥発生の時系列を比較し類似度を測ります。

[サイトの使い方](#)

右リンクはサイトで使えるプロジェクトデータです [仮プロジェクトデータ](#)

他のプロジェクトデータはこちら [他データ](#)

[こちらからログイン](#)

トップページです。こちらのページからログインしてもらうことで信頼度成長モデルグラフ・複数プロジェクトの欠陥数の時系列グラフを使えます。「仮プロジェクトデータ」ではサイトで使えるプロジェクトデータをダウンロードできます。仮データを使い機能を試してください。ほかに仮データを用いたいときは「他データ」リンクの Github から他のデータも取得できます。

② プロジェクト一覧

プロジェクト一覧

Name:

name	totalday	update	edit	delete
プロジェクトA	2844	2023年1月11日16:57	Edit	delete
プロジェクトB	2663	2023年1月11日17:06	Edit	delete
プロジェクトC	0	2023年1月11日15:54	Edit	delete

[正規化](#)

[Logout](#)

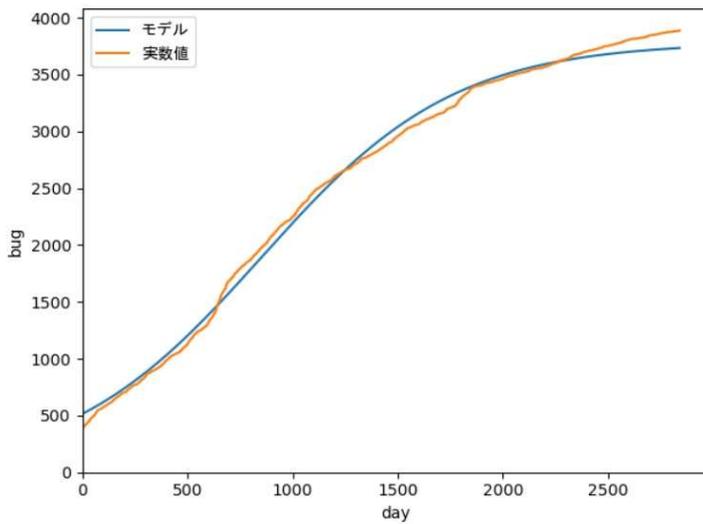
プロジェクトの一覧です。分析したいプロジェクトを Name 欄に名前を入れて作成ボタンを押せば新規のプロジェクトが作成されます。Edit リンクではプロジェクトデータページへ遷移します。

③ プロジェクトデータページ

アップロード：プロジェクトA

CSVファイル: ファイルが選択されていません

ロジスティック曲線



プロジェクトのバグ数と日数のデータがある CSV ファイルを保存すると、ファイルのデータをもとに実数値と信頼度成長モデルグラフを表示します。CSV ファイルの形式は以下の通り、1 番目の列に日数、2 番目の列にその日に発見したバグ数を記述してください。

A	B
0	386
1	1
2	2
3	6
5	1
6	1
7	4
8	8
9	4
10	2
14	2
16	3
17	2
18	1
20	4
21	5

④ 正規化ページ

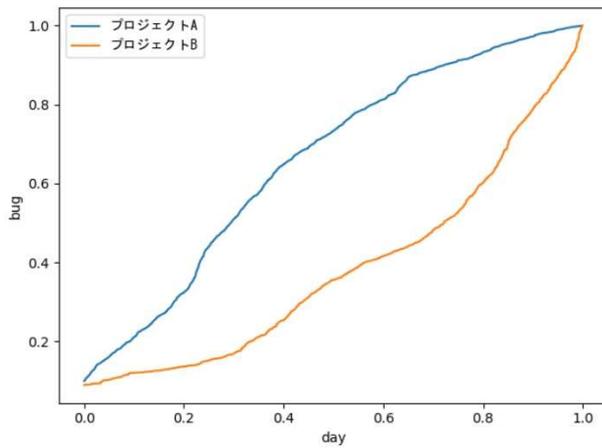
正規化グラフ

正規化したいデータを選択してください

- プロジェクトA
- プロジェクトB

正規化

正規化グラフ



保存した複数のプロジェクトデータを選択して欠陥数の時系列グラフを出力します。このページで表示されるプロジェクトは③のプロジェクトデータページでデータを保存したもののみ表示される。